

令和6年12月12日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

ガイドウェイバス（ゆとりーとライン）への自動運転技術導入に向けた 大型自動運転バスによる実証実験に参加します

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（代表取締役社長：野崎秀則）は、愛知県名古屋市のガイドウェイバス志段味（しだみ）線（愛称：ゆとりーとライン）において検討されている自動運転技術を活用した新たなシステムの導入に向けた大型自動運転バスによる実証実験に参加しますのでお知らせします。

今年度の実証実験では、大型の自動運転バスを走行させ、車両制御の精度を検証します。また、今年度は、一般市民向けに、自動運転バスの体験を目的としたモニター試乗を実施します。当社は、実証実験の計画、および実験結果の評価を行います。

なお、本実証実験は、名古屋市が国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」の採択を受けて実施するものです。名古屋市の報道発表は以下をご覧ください。

- ・報道資料 令和6年11月29日発表 「ガイドウェイバスへの自動運転技術導入に向けた大型自動運転バスによる実証実験を実施します」

<https://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/page/0000180682.html>

【実証実験概要】

① 実験期間

2024年12月16日（月）～12月27日（金）まで

（一般市民向けモニター試乗：12月24日（火）、25日（水））

② 実験場所

名古屋市が所管する守山南部処分場（愛知県尾張旭市）の管理通路

③ 実験内容

ガイドウェイバス専用道（高架区間）の幅員や急カーブを部分的に再現した実験区間において、運転士が乗車した状態で、ハンドル操作や加減速操作をシステムにより自動走行（自動運転レベル2※1）し、自動運転用センサを使用した各種誘導方式※2による車両制御の精度を検証します。

また、一般市民向けのモニター試乗では、大型の自動運転バスに関して加速や減速時の乗り心地などを検証します。

※1) 自動運転レベル2

システムがハンドル操作やアクセル・ブレーキ操作を実行し、緊急時は運転士が介入。運転の主体は運転士。

※2) 各種誘導方式

ア：磁気マーカシステム（GMPS）：道路に敷設された磁気を発するマーカ（磁気マーカ）を、車両に取り付けられた磁気センサーモジュールで読み取り、車両の自己位置を正確に特定する方式。（「GMPS（Global Magnetic Positioning System）」は、愛知製鋼株式会社の登録商標です。）

イ：GNSS 方式：Global Navigation Satellite System の略。複数の衛星からの情報を基に衛星からの距離を計測し自車位置を測定する方式。

ウ：3D マップ方式：自動運転車両の走行経路の設定に用いられる3Dの地図により、自己位置の推定を行う方式。

④ 実験車両

アイサンテクノロジー株式会社保有の大型自動運転バス



■参加企業：

アイサンテクノロジー株式会社（代表）

三菱商事株式会社

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

※実証実験の内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

以 上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
<https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤・丸山・門司